

栗石町 消防フェスティバル

7月5日、世界アルペン記念公園をメイン会場に「栗石町消防フェスティバル」が開催され、町内外からおよそ2,500人が来場しました。☎防災課 ☎ 692-6410



昨

年、「消防演習」から名称を変更してスタートした「消防フェスティバル」。地域の消防活動の大切さや消防団の日頃の訓練成果を、子どもたちをはじめ多くの町民に知ってもらいたいという消防団員の思いから生まれ、2年目を迎えました。

消防演習で行われていた訓練の披露や点検、消防車の展示のほか、背負い式の消火用水のう「ジェットシューター」や水消火器を使った的当てなどの縁日コーナーを設け、子どもたちと消防団員が笑顔で交流しました。

また、煙体験や地震体験などの防災体験、車両展示コーナーなど大人も子どもも楽しめる催しが盛りだくさん。

イベントの終盤には放水訓練が行われ、水しぶきを浴びながらも標的のビーチボールを夢中で追いかける子どもたちの姿が見られ、会場は終始笑顔に包まれていました。

小谷地昇^{のぼる}団長は「多くの子どもたちと町民に参加いただき、消防活動に対する関心



Photograph

- ①迫力の直上—斉放水訓練
- ②みんなで楽しくお遊戯を披露する園児ら
- ③輪ゴム鉄砲「的」に当たるかな?
- ④起震車で地震体験
- ⑤ストラックアウトにチャレンジ!
- ⑥ハシゴ車に乗っていていい笑顔
- ⑦みんなで協力、バケツリレー
- ⑧規律と統制の取れた部隊訓練

消防フェスティバルを通じて消防活動への関心が高まり、町を守る新たな担い手の確保につながることが期待されます。

近年、消防団員の減少が続き、4月1日現在で定員313人に対し252人(充足率80・5%)と、ここ10年で50人ほど減少しました。

消防フェスティバルを通じて、消防活動への関心が高まり、町を守る新たな担い手の確保につながることが期待されます。